

お仏壇の起源

●600年代

○龕室(がんしつ)



仏教とともに朝鮮半島より日本に**龕室(がんしつ)**として伝わる。龕室は儒教の中で祖先の官位を記録した板を納めるための重要な箱。内部には位牌や経典を納める。

○仏龕(ぶつがん)



木材や石から仏像を直接掘り出し安置したもの。685年3月27日、天武天皇が勅令を発行しました。

「諸國(くにぐに)の家毎に佛舎を作り、即ち佛像と経とを置きて礼拝供養せよ。」(「日本書紀」二十九卷に記載)

●700年代



玉虫の厨子

厨子の起源は前出の龕室(がんしつ)をもとに玉虫の厨子を日本人が製作。内部には釈迦三尊仏が納めてあった。本来の名前は推古天皇厨子。

厨子【御厨子所 (みずしどころ) (=台所)】



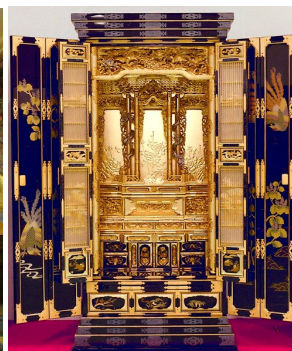
赤漆文櫨木御厨子 (正倉院)



木造弥勒菩薩半跏像を収める厨子 (興福寺・重要文化財^[1])



1500年代後半



浄土真宗本願寺派寺院

●1600年代

1600年前後に現在の場所に西本願寺、東本願寺(真宗本廟)が建立されると浄土真宗の門徒の中で内陣をそのまま在家に作り込んだ内仏を使うようになりました。名前はお内仏です。阿弥陀如来を安置するための箱で祖先を安置するための物ではありませんでした。祖先の記録は法名軸(小さな掛け軸)あるいは過去帳の形で保存されています。作り付けのお仏壇



●1700~1800年代浄土真宗以外の宗派の場合はどうだったのでしょうか。龕室のような小型の厨子。水屋ダンスや茶ダンスの内部に段々を仕込む。床の間の横に段々を仕込む。位牌壇、仏壇と呼ばれるようになります。内部にはご本尊や位牌(官位を記録する板)を安置するようになりました。まさに仏龕、龕室の機能を持った信仰の対象を入れる箱の誕生です。特に禅宗の曹洞宗などは武家社会の中で信者を増やしていきました。後に寺請制度の登場で民衆の宗教選択の自由がなくなりました。

日本人の信仰と宗教

年代	国家	【民衆の信仰】
弥生時代	神代の時代	【祖霊信仰（信仰の対象は地域の山）】
紀元前660	人代の時代（神武天皇）	【祖霊信仰】
7世紀	仏教・儒教・道教	【祖霊信仰】 【善光寺 7世紀後半】
8世紀	日本書紀（神道）、空海、最澄	【祖霊信仰】 【地域の神は伊勢宮に統一】
9世紀	神仏習合、皇族と国家の分離	【祖霊信仰】
11世紀	仏教は国家の為にある。	【祖霊信仰】 【地域神社の建設】
12世紀	法然【民衆への仏教の普及開始】	【祖霊信仰】
13世紀	親鸞、道元、日蓮、一遍、 大乘仏教へ（民衆の仏教へ）	【仏教、祖霊信仰】
17世紀	大衆仏教 白隠禅師	【仏教、祖霊信仰】
18世紀	寺請制度による信仰の固定化	【仏教、祖霊信仰】
19世紀	明治維新（1868年）神仏分離 廃仏毀釈、宗教の自由	【葬式仏教へ】 【祖霊信仰】
20世紀	宗教の自由	【葬式仏教】 【祖霊信仰】

飯山仏壇の歴史概要

● 1600年代後半が起源

お仏壇は1600年前後に西本願寺、東本願寺が現在の場所に建立され、その後京都を中心に阿弥陀堂内陣の様式を在家に持ち込んで御内仏としたのが起源。その後浄土真宗の門徒を中心に全国に広がる。飯山仏壇は長岡仏壇に似ており、信濃川沿いに職人が移り住み飯山漆器の技術をベースに生産が始まったようです。

● 1650年頃 稲葉彦次郎【京都にて死亡】【彦作】【仁兵衛】

● 1716年 稲葉仁兵衛【飯山に定住の記録あり】【4代前稲葉彦六上杉軍として川中島で戦死】

● 1772年 稲葉弁蔵生まれる【奈良沢神社天神、飯山伊勢町に住む】

- 1802年 稲葉喜作生まれる【円道寺地藏、勝教寺、本堂龍、牡丹、唐獅子】
- 1867年 2代目稲葉喜作【西念寺本尊台座、高源院仁王像、本光寺仁王像】【明治維新】
- 1912年 明治45年善光寺仁王像【清水和助、伊勢神社天神、田中法善寺仁王像】
- 1926年 昭和元年
- 1945年 終戦
- 1965年頃 昭和40年代頃から量産化
- 1975年 昭和50年伝統的工芸品に指定される（当時の工業統計調査によると11億円）
- 1980年頃 昭和55年前後から国産他産地の量産品が流通

○本来の漆芸（塗り、蒔き絵、彫刻）技術の習得

○1988年（平成元年）県外での展示会販売の開始

○新製品の開発

○1991年（平成3年）通産大臣賞受賞

○1閑張り研究会（地域資源活用事業）現在1社

○信州木工会への参加

○家具づくりの技術の習得

●1995年頃 平成7年前後から海外製品が流通

●2000年頃 長野オリンピック以降より生産が激減

飯山仏壇の問題点

- 市場が成熟した（高度成長期の量販、長野オリンピックでの資本投下、等）
- 専業農家の減少（3世代家族の減少、家庭の核家族化）
- 仏間のない住宅（核家族化による住宅の変化）
- 海外製品の流通（お仏壇の形骸化の影響）
- 信仰のない生活環境（信仰心の欠如、根っこのない家族）
- 信仰のパーソナル化（必要とされている仏壇の多様化）